

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年3月1日 (2018.3.1)

【公表番号】特表2017-514266(P2017-514266A)

【公表日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-548617(P2016-548617)

【国際特許分類】

H 0 5 H 1/30 (2006.01)

H 0 1 J 49/26 (2006.01)

H 0 1 J 49/10 (2006.01)

C 2 3 C 16/513 (2006.01)

G 0 1 N 27/62 (2006.01)

H 0 5 H 1/28 (2006.01)

【F I】

H 0 5 H 1/30

H 0 1 J 49/26

H 0 1 J 49/10

C 2 3 C 16/513

G 0 1 N 27/62 G

H 0 5 H 1/28

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月22日 (2018.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トーチ内にイオン化源を維持するための、前記トーチの動作中にガスの流れが導入される長手方向軸を備える装置であって：

前記トーチの本体を受容するように構築され配置された内側開口部を備えたコイルを提供するように構成されたベース；及び

前記ベースに結合された半径方向フィン、を備え、

前記装置は、前記トーチ内に前記イオン化源を維持するために、前記トーチの前記本体に高周波エネルギーを供給するように構成される、装置。

【請求項 2】

前記半径方向フィンは、前記トーチの前記長手方向軸に非平行に配向しており、前記ベースによって形成される前記開口部から離れて延びる、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記半径方向フィンは前記トーチの前記長手方向軸に直交している、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記ベース上の前記半径方向フィンの位置は、前記ベースから前記半径方向フィンを分離せずに調整可能である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記半径方向フィンは留め具を介して前記ベースに結合する、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記半径方向フィンが前記ベースに一体的に結合されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記ベースに結合された複数の半径方向フィンをさらに備える、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 8】

前記半径方向フィンの少なくとも 2 つは同じ角度を備える、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記複数の半径方向フィンのそれぞれは、前記ベースがコイル巻きされていない場合、前記ベースに対して実質的に同じ角度で傾斜している、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 10】

前記複数の半径方向フィンの少なくとも 2 つは、前記ベースがコイル巻きされていない場合、前記ベースに対して異なる角度で傾斜している、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 11】

前記複数の半径方向フィンの少なくとも 2 つは異なる断面形状を有する、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 12】

前記半径方向フィンは、前記フィン内に少なくとも 1 つの開口部を備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 13】

前記開口部は、前記トーチの前記長手方向軸と実質的に平行に配置された貫通孔として構成されている、請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

前記フィンの開口部は前記ベースによって形成される前記開口部に向かって傾斜している、請求項 12 に記載の装置。

【請求項 15】

前記ベースに結合された複数の半径方向フィンをさらに備え、前記半径方向フィンの少なくとも 2 つは前記フィン内に開口部を備え、前記 2 つの半径方向フィン内の前記開口部は異なって構築され配置されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 16】

前記半径方向フィンは、前記トーチの前記長手方向軸に非平行に配向しており、前記ベースによって形成される前記開口部内で内側に延びている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 17】

前記半径方向フィンは前記トーチの前記長手方向軸に直交している、請求項 16 に記載の装置。

【請求項 18】

前記ベースに結合された複数の半径方向フィンをさらに備え、前記複数の半径方向フィンのそれぞれは前記トーチの前記長手方向軸に非平行に配向しており、前記複数のフィンのそれぞれは前記ベースによって形成される前記開口部内で内側に延びている、請求項 16 に記載の装置。

【請求項 19】

前記ベースに結合された複数の半径方向フィンをさらに備え、前記複数の半径方向フィンのそれぞれは前記トーチの前記長手方向軸に非平行に配向しており、少なくとも 1 つの半径方向フィンは前記ベースによって形成される前記開口部内で内側に延びている、請求項 16 に記載の装置。

【請求項 20】

前記ベースに結合された複数の半径方向フィンをさらに備え、前記複数の半径方向フィンの少なくとも 1 つの半径方向フィンは前記ベースによって形成される前記開口部から離れて延び、前記複数の半径方向フィンの少なくとも 1 つの半径方向フィンは前記ベースによって形成される前記開口部内で内側に延びている、請求項 1 に記載の装置。